

手術を契機に診断された Stage IVA 非小細胞肺癌における 原発巣切除の意義に関する研究

1．研究の対象

2003年1月1日～2018年12月31日までの間に、当院呼吸器外科で非小細胞肺癌のため手術を受けた方のうち、病理学的に M1a-Stage IVA と診断された方。なお、術前導入化学療法を施行された方や、手術時に M1b や M1c と診断されていた方は対象となりません。

2．研究期間

倫理委員会承認後～2026年12月31日

3．研究目的・方法

肺癌の手術を受けた方のうち、病理検査で悪性胸水や胸膜結節などを認め M1a と診断された方に対して手術がどのような意義を持つか調べる研究です。当研究は、これまで当科で治療を受けてこられた電子カルテの記録のみを用いて行われるため、新たにご協力いただく項目はございません。

4．研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテより、患者さんの情報（年齢、性別等）、周術期の合併症の有無、術後治療の有無などを抜粋し使用します。

尚、これらの情報を用いて解析した結果を学会発表や論文発表として公開することがありますが、発表の際は個人を特定する形での発表は行いません。統計化されているため個人情報は識別不能となっております。

5．研究費および利益相反

当研究は呼吸器外科学講座の講座研究費を用いて行われます。

本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：吉村 竜一

岩手医科大学医学部呼吸器外科学講座

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

TEL:019-613-7111(内線 6231)

FAX:019-907-6714

E-mail: ryuichiy@iwate-med.ac.jp

-----以上